



# 三春中学校だより

第2号

発行日 平成31年 4月12日  
発行所 三春町立三春中学校  
電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978  
E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【修学旅行の事後学習に取り組んでいます！

～4月20日(土)の授業参観をお楽しみに。～

卒業式前の3月5日(火)に第2学年においては、国語の授業の一環として、福島民報社から講師の先生をお招きし、新聞についての学習をしました。N I E学習で、新聞の見出しや構成のあり方を学ぶことで、読解力向上の一助としようというねらいもありました。

その際の様子は3月7日(木)の福島民報新聞にも取り上げられました。その日に撮影した集合写真をすぐに掲載した『号外』を手にしながらの学習でした。

4月20日(土)に実施される3年生の『修学旅行発表会』はこの日の学習で学んだことをもとに編集された内容でもあります。見る人聞く人の、見やすさ聞きやすさ、興味関心を配慮に入れた内容となっているはずですので、ぜひ、足をお運びいただき、楽しかった修学旅行の様子を共に味わっていただきたいと存じます。

2019年(平成31年)3月7日(木曜日)

### 新聞製作の流れ理解

三春中2年生109人



市川委員(左)から新聞作りのコツを学ぶ生徒

三春町の三春中(佐)だ。藤和興校長の2年生百九人は五日、移動編集局の市川純一新聞講座「集まる民報号」で同校を訪れた福島民報社の社員から新聞の役割や社員の役割や新聞作りのコツを学ん

読みやすくする王を体験した。修学旅行に向けて取材や新聞製作の手順などの説明を受けた。八木原康里さん(三春)は、修学旅行の新聞を作る時に王を編み出し、伝わりやすいよう意識して記事を書きたいと感想を話した。



## 【平成31年度三春中学校入学式！ ～111名が仲間に加わりました。～】

4月8日(月)は平成31年度三春中学校入学式の日でした。今年度は昨年度より多い111名の入学生があり、学年団の先生方の先導について緊張した面持ちで式場の体育館に入場してきました。

たくさんのご来賓のみなさまのご臨席のもと、真新しい制服と希望と不安を胸に三春中学校に入学してきた新入生のみなさんに、校長よりは、教育目標とめざす生徒像の実現にむけ、『命の輝き』を求め、『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』歩んでいきましょうというメッセージを贈りました。

111名のみなさん、これまで小学校6年間で学んできたことをもとに、三春中学校という新たなステージで、3年間という限られた時間と場の中で、自らの将来の生き方を求めていくこととなりますので、保護者のみなさん、社会で自立して生きていくことのできる人間になれるよう学校とご家庭とが同じ方向性を持ち子どもたちの教育にあたってまいりたいと存じますのでよろしく願いたします。

三春百一十一人が新生活をスタートさせた。新入生一人一人の名前が読み上げられた後、佐藤和興校長が式辞を述べた。新入生を代表し、伊藤聖人さんが「諦めず、仲間と助け合い、支え合い、前に進んでいく」と力強く誓った。在校生が三春中賛歌「輝く時代」と「校歌を披露した。



誓いの言葉を述べる伊藤さん(三春中)

三春百一十一人が新生活をスタートさせた。新入生一人一人の名前が読み上げられた後、佐藤和興校長が式辞を述べた。新入生を代表し、伊藤聖人さんが「諦めず、仲間と助け合い、支え合い、前に進んでいく」と力強く誓った。在校生が三春中賛歌「輝く時代」と「校歌を披露した。

民報号では授業の録子を伝える号外を作り、生徒に配布した。

## 【平成31年度三春中学校着任式！ ～10名が仲間に加わりました。～】

平成30年度末の人事異動により、4月1日付で8名の教職員、2名の町職員が三春中学校に着任し、平成31年度の始業式に先立ち、着任式を実施し子どもたちに披露しました。

開校7年目、平成31年度の三春中学校を迎えるにあたっては、教育目標やめざす生徒像そのものの見直し作業から教育課程編成が始まりました。

開校当時の先生方が次第に学校を離れ少なくなった今、7年目の三春中学校には何が大切かという新たな視点で、前例踏襲を廃し、『生徒の実態に応じ、生徒のために』という原点に立ち返った三春中学校づくりに取り組んでまいります。そのためには、教職員間での『連携・コミュニケーション』が必要であるということ年度当初に強く確認いたしました。

新たな視点といえば、早速感心させられるものがありました。その日の出欠席や遅刻早退の状況が早期に校長まで届き、生徒のその日の動向が一目でわかるシステムを新たに養護教諭が実施しています。それにより校長からは、各学年や担任に指示が出され、出席状況に対する具体的な対応がとてもスムーズになりました。

現状維持をめざせば現状以下に至ります。現在の三春中学校のレベルをさらに高めるため、新たに三春中学校に赴任した10名の新たな視点も加えつつ、『Next One』を求めて学校を運営してまいりたいと存じますのでどうぞよろしく願いたします。

## 【平成31年度三春中学校入学式で！ ～大階段は輝かしい未来へ続いています。～】

4月8日(月)に挙行した三春町立三春中学校入学式。その式辞には、本年度の新入生に校長から期待すること、めざすべきものなどのメッセージがちりばめられていました。以下にそれを掲載いたします。在校生に対しても同様の校長としての思いを始業式において伝えましたので、ご家庭

におかれましてもご一読いただき、平成31年度の三春中が学校づくりに対しご理解・ご協力をたまわりますようどうぞよろしくお願ひいたします。

### 『入学式式辞』

厳しい冬の寒さを乗り越え、『命の輝き』あふれる春がやってきました。暖かな太陽は三春の地の『梅・桃・桜』を美しく咲かせようと降り注いでいます。

本日は、三春町長 鈴木義孝 様

三春町議会議員 橋本善次 様をはじめ、多くのご来賓・町当局のみなさまのご臨席をたまわり、三春中学校七回目の入学式が挙行されますことに心より感謝申し上げます。

三春中学校に入学する111名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんのご入学を心より歓迎いたします。5月1日には元号が『平成』から『令和』となります。新しい三春中学校の歴史のページを刻むのは、まさに、ここにいるみなさんと先生方です。みなさんの取組の一つ一つが、『命の輝き』にあふれた三春中学校の歴史と伝統として積み重ねられていくようになります。

三春中学校は、ここにいるみなさん一人ひとりが集まり、三春中学校という『集団』となっています。ねらいや目的をもたない集団のことを『烏合の衆』と呼びますが、三春中学校には、『教育目標』というものがあります。それは、『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』です。その教育目標を実現させるためには、『うるわしい心』、『心身を鍛え未来を切り拓く力』、『夢にむかって学び続ける力』が必要です。三春中学校ではそれを、『忠恕』・『探究』・『必達』という言葉で表現しています。コミュニティー・ガーデンにはそれがいつも掲げられています。みなさんの心の中にもその『忠恕』・『探究』・『必達』を掲げ、迷い悩んだとき、心の中の『忠恕』・『探究』・『必達』を判断の規準とすることで、きっと正しい『選択』ができると確信します。本年度一年間、三春中学校の教育目標・めざす生徒像実現のため一丸となって取り組んでいきましょう。

今、三春中学校の教育目標への『道のり』をみんなで歩んでいきましょうとお話しましたが、『歩き方』はさまざまあります。教育目標・めざす生徒像にたどり着くまで、どんな『歩き方』をしていけばいいのかを示したものが『経営方針』というものです。三春中学校の経営方針は、『命の輝き』共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』です。みんなと一緒に、豊かな心を発揮しながら、ひたむきに取り組んでいけば、必ず、めざすところにたどり着くことができる。『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』という『歩き方』をみなさんの心にもう一つ加えておいてください。

中学校生活はたった3年間という決められた時間と場の中、多くの勉強をします。まさに、中学校3年間は、『時間と場との勝負』です。ですから、その限られた時間と場の中で三春中学校のすべてのみなさんが安心して勉強していくためには、『ルール』を守ることが大切です。まず**第一の『ルール』は、三春中学校で生活する一人ひとりの『命』の大切さ、かけがえのなさやその重みを常に意識した生活をする**ということです。第二の『ルール』は、**三春中学校のすべての人が相手の立場にたち、みんなが学びやすい『学びやすい環境づくり』に努める**ということです。『わからなくて当たり前。わからないから勉強する』という気持ちで、『繰り返し』と『積み重ね』を大切に、すべての活動にひたむきにに取り組んでいきましょう。第三の『ルール』は、『その一言』を大切にすることです。「がんばれ。」「大丈夫。」「私がいるよ。」「助けて。うまくいかないんだ。」などの言葉を実際に聞こえる言葉で発信してください。みなさんは決して一人ではありません。三春中学校での充実した生活につながる『命』、『学びの環境づくり』、『その一言』の3つをすべてのみなさんが心がけ、行動するよう努めてください。

保護者のみなさま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。大切に育ててこられたお子様を、三春中学校は、今、お伝えしたように育てまいります。『忠恕』・『探究』・『必達』のもと、**ご家庭と学校とが同じ思いで、すべての子どもたちのよりよい未来をめざし教育に取り組んでまいります**と存じますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

ご来賓のみなさま、本日はご臨席をたまわりありがとうございます。三春中学校は、六年前、要田、沢石、桜、三春の4つの中学校を中心に再編された、**4つの地域とともにある学校**です。教育が地域に根ざしたものとなるためには地域のみなさまのご理解・ご協力が必要です。今後とも、地域の子どもたちを大切に見守り続けていただけますようお願いいたします。

いよいよ新しい年度がスタートします。本日配付される教科書は日本国民全体からの贈り物、三春中学校は、保護者・地域のみなさまからの贈り物です。その中で私たち教職員は、率先垂範を心がけ、時間を効率的に使い、子どもたちと関わり合う時間を大切に、互いの『その一言』と『連携・コミュニケーション』に努め、チーム三春中学校として、**生徒の心に、『わたしにはこれがある』という『命の輝き』をより多く育ててまいります。**

生徒のみなさん、自分自身の成長のため、自分の周りのすべてを『お手本』・『先生』と考えてください。自ら求め、たくさんのお話を吸収し、自分自身をさらに大きく成長させていきましょう。みなさんの限りない可能性を信じます。

111名の新入生、202名の在校生、全校生313名の生徒、そして、教職員すべてが、**「今日も楽しかった。」「一生懸命がんばった。」「三春中学校でよかった。」**と言える学校となるよう心から願ひ入学式式辞といたします。

